

大学コンソーシアム富山 令和 8 年度地域課題解決事業申請書

(**新規** ・ **継続**)

自治体等名	高岡市	担当者	所属 福祉保健部健康増進課 氏名 米澤、永森 TEL 0766-20-1391 E-mail kenko@city.takaoka.lg.jp	
地域課題名	地域の健康づくりの担い手不足等に対応した持続可能な健康づくりの推進		事業費	300,000 円
地域課題の背景	高齢化の進展、就業期間の延長、人口減少により、地域のお世話役の高齢化や担い手不足が深刻になっている。また、住民どうしの関係も希薄化しており、従来の地域ぐるみの健康づくり活動の継続は、年々、難しくなっている。一方で、地域組織が共に助け合いながら健康づくりを進めることも大切であることを踏まえ、従来の活動の枠組みを取っ払い、新たな地域での健康づくり活動の進め方を模索する必要がある。また、健康づくりに前向きな民間企業の協力をも見られるようになってきている。			
課題の概要	(1) 解決したい課題の説明 現在、市内 28 地域では、ヘルスボランティア、食生活改善推進員、母子保健推進員、環境保健衛生委員、地域女性ネット高岡、自治会の会員らがメンバーとなり、「健康づくり推進懇話会」として健康教室や歩こう会の実施、がん検診の受診勧奨等健康づくりに関する普及啓発の取り組みを行っている。しかし、高齢化や就業期間の延長、地域の希薄化により、お世話役の担い手不足が深刻になっており、これまでのような活動の継続が難しくなっている。一方で、健康づくりに前向きな民間企業や団体も見られるようになってきている。以上の現状を踏まえ、今後、ますます地域の担い手不足が進む中、地域のボランティア団体と共に、民間企業や団体等とも連携した、新たな健康づくり活動の進め方を構築したい。 (2) その課題解決において自治体に取り組めること 地域の健康づくりボランティア団体への実態把握等を実施する際の説明や地域の基本データの情報提供等 (3) 高等教育機関に求めたいこと 高齢化、担い手不足等が進行する中での、地域のボランティア団体と共に民間企業や団体等とも連携した、新たな健康づくりの推進体制の提案をお願いしたい。			
事業実施に当たっての協働体制	【自治体等の役割】 地域の健康づくりボランティア団体等への説明、必要に応じてモデル地区の選定や対象地区への説明、調査やアンケートの実施についての対象者への説明 【高等教育機関の役割】 高齢化、人口減少社会に対応した新たな地域における健康づくり活動の推進体制の提案、アンケートや聞き取りを行う際は、調査方法の指導や調査実施の助言指導等			
成果の活用方法	今後の健康づくり活動の進め方（施策立案、実施等）への参考とする。			

【作成上の注意】

- 1 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 2 課題に関する詳細資料（秘密事項は除く）がある場合は、添付願います。
- 3 課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 4 申請書は1 ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。